

6月の 園便り

24年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子



想像の世界にたっぷりと浸って遊んでいるとき、子どもたちは、やりたいことを自由に考え、ストーリーを作り出し、自分の大好きな世界を作り上げているのですから、心の中は充実し満足し十分に満たされている状態なのです。子どもたちが想像の世界に没頭していたり、独り言をぶつぶつと言いながら遊んでいたたり、あるいは、ぼ〜と想像の世界に没入していたりする姿があったなら、余計な言葉などはかけないで、そっと見守っててくださいね。(物語で育まれる想像力は“職員室から”のお便りでお伝えしました)

想像の世界を経験していると、芸術的なもの、優れたもの、豊かなものに心が反応する大人・良心を持って生きる大人・理想を持って生きる大人になると言われています。子どもの遊びは、大人から見るとつまらないこと、あるいは生産的ではないと見えてしまいがちですが、実は、とても重要な経験をしているのですね。

たぶん、皆様も想像の世界で遊んだ思い出がごありのことと思います。思い出してみれば・・・とっても楽しい世界だったこと、そして思い出すと心が満たされてくるような記憶が残っているのではないのでしょうか。でも大人になると、忘れてしまうのですね。あの想像の世界の豊かさを・・・ですから大人はともすると、子どもの想像の世界に水を差すようなことをしてしまうのです。子どもが自分の想像力によって物を見立てて遊んでいるのに、子どもには“本物のように”見えているのに、その感性がなくなった大人は、子どもが見えていることに気づかずにより本物に近いものを作ってあげようと、要らぬお世話をしてしまうのですね。一本の木片を電車に見立てて動かしていると、大人は木片を電車の形に似せて削ったり、車輪をつけようとしたりするのです。でも、電車にされてしまった木片は、もう電車にしか使えなくなってしまうと、子どもが次の遊びでまた別のものに見立てて遊ぶ、ということができなくなるのです。子どもの想像力は、素晴らしく大きい能力なのです。一本の木片を電車に見立てたり、また次には、パンに見立てたり、その時その時の自分に必要なものを想像力によって、“そのもの”に見立てることができるのです。現実に生きている大人とは、まったく違う想像の世界に生きている子どもたちです。

市場におもちゃがあふれていますが、大人が考えたおもちゃは本物そっくりで作られていて、実際に動いたりするものまであって、子どもの想像力を発揮させてはくれませんかから考えない子どもになってしまいますね、“子どもを見くびらないでね”といいたいくなります。大人が考えるよりもっともっと豊かな世界が広がっている子どもの世界、この想像力は、幼児期にしか学べないことであって、大きくなってからでは経験できないのです。

6月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	金	○	2:00		
2	土	×		森の探検隊です。詳細はお便りをご覧ください。	
3	日	/	/		
4	月	○	2:00		
5	火	○	2:00		
6	水	○	2:00		
7	木	○	2:00		
8	金	○	2:00		
9	土	/	/	第2土曜日	
10	日	/	/		
11	月	○	2:00	各学年1組	歯科検診です。
12	火	○	2:00	各学年2組	歯科検診です。
13	水	○	2:00		
14	木	○	2:00		
15	金	○	2:00		
16	土	×	11:30	自由登園日です。	
17	日	/	/		
18	月	○	2:00		
19	火	○	2:00		
20	水	×	11:30	誕生会です6月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
21	木	○	2:00		
22	金	○	2:00		
23	土	/	/	第4土曜日	
24	日	/	/		
25	月	○	2:00		
26	火	○	2:00		
27	水	○	2:00		
28	木	○	2:00	プール開きです。水着のご用意をお願いします。(後日お便りを配布します)	
29	金	○	2:00	青ばらさんが七夕の飾り付けに古町へ出かけます。	
30	土	/	/	子育て講座のため自由登園はありません。	